愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	保育実習事前指導ＩＡ		
担当者(Instructors)	堀 建治,松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は、実習に必要な基礎的事項や準備、保育者としての基本的な能力を養うことを目的とする。専門的知識と実践力をもって保育実習ＩAに臨むことができるよう、保育実習の意義や目的、子どもへの理解、保育者のあり方や保育所の理解、指導計画等について理解する。本授業は学部が定める保育実習履修条件に従うものとし、特に必修３科目のいずれかについて単位未修得の場合、受講することができない。また本授業を3回以上欠席した場合は履修が認められないので、注意すること。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義、実技、ディスカッションやグループワークを導入する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	授業の概要、目的について話をする。	□
第2回	保育所実習に向けての心構えと準備（名札作成）	保育所実習に臨むにあたっての心構えを学ぶ。また実習事前準備として「名札」を作成する。	□
第3回	実習に向けての準備（子ども観察）	子どもの観察を通じて、子どもに対するイメージを深めるとともに、子ども理解の方法について学ぶ。	□
第4回	保育所全般の理解	保育所の役割や職業倫理などを学び、保育士の職務と役割について具体的なイメージをもつ。	□
第5回	保育実習の段階	実習段階ごとでの実習の意義や環境構成等の理解をする。	□
第6回	保育実習の内容	保育所における保育内容や保育士の役割、デイリープランについて具体的なイメージをもつ。	□
第7回	保育教材について	保育の場で必要とされる保育教材の意義について学び、実際に保育教材を作成する。	□
第8回	実習における記録の書き方①（ねらい）	実習記録に記載する「ねらい」について学ぶ。	□
第9回	実習における記録の書き方②（環境構成）	実習記録に記載する「環境構成」について学ぶ。	□
第10回	実習における記録の書き方③（子どもの活動・姿）	実習記録に記載する「子どもの活動・姿」について学ぶ。	□
第11回	実習における記録の書き方④（保育者のかかわり）	実習記録に記載する「保育者のかかわり」について学ぶ。	□
第12回	指導計画の立案	責任実習時に作成する指導計画の立案の仕方を学ぶ。	□
第13回	指導計画の作成	責任実習時に必要とされる指導計画の作成の仕方仕方を学ぶ。	□
第14回	模擬保育（保育教材の発表）	作成した保育教材を発表し、自身の教材力を高める。	□
第15回	まとめ（確認試験）と実習課題の作成準備	前期での学びの成果を確認する。後期から始まる実習に向けての課題作成の準備をする。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前は、シラバスを確認し、テキストの該当箇所を熟読しておく（当日までに2時間程度）。 授業後は、学習内容を整理して、ノートにまとめておくこと（次回授業までに2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

必要に応じて、担当者が面接を実施する。回収した提出課題は添削後に授業内で返却をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	実習で必要な保育実習の意義・目的、内容を理解し、自らの課題を明確にする。さらに保育士資格に必要な基礎的な知識と実践的な技能を身につけている。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	保育現場において主体的に携わる学び続ける力と人間力を体得する。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			40%	60%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

・「授業内試験」:授業での理解度について評価する。(50%)・「その他」:提出物や各種課題（提出状況を含む）、授業参画度を総合的に判断して評価する。(50%)

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	改訂版幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド	978-4-907270-41-4
2	改訂版実習日誌・実習指導案　パーフェクトガイド	978-4-907270-43-8
3	保育所保育指針解説	978-4-577-81448-2
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内でプリントを配布	
2		
3		
4		
5		